

第34回

福島県建築文化節

(平成29年度)

—— うるおいとやすらぎの

美しいまちづくりを求めて ——



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

主 催

福島県・(株)福島民報社・(一社)福島県建設業協会・(公社)福島県建築士会

協 賛

(一社)福島県建築士事務所協会・福島県建築設計協同組合
(一社)福島県空調衛生工事業協会・(一社)福島県電設業協会
(一財)ふくしま建築住宅センター・(公社)日本建築家協会福島地域会

後 援

福島県市長会・福島県町村会

《審査委員》

審査委員長

長	澤	悟	東洋大学名誉教授
柳	澤	陽子	建築家
北	川	圭子	北海道科学大学客員教授
渡	部	和生	建築家・日本大学工学部特任教授
手	塚	由比	建築家
早	川	博明	福島県立美術館長
矢	森	真人	福島民報社代表取締役専務

総 評

福島県建築文化賞は、東日本大震災による2年間の中断を挟み、本年で34回目を迎えた。

今回の応募作品は62点で、うち公共建築物が35点、民間建築物が27点であった。用途別では、福祉・医療施設等が14点と最も多く、次いで庁舎・事務所等10点、学校教育施設、文化・スポーツ施設が各9点、共同住宅が8点、工場等、複合施設、建築物群又は建築物等が各3点、商業施設等が2点、古い建築物の修復が1点であった。地域別では、浜通り14点、中通り31点、会津17点となっている。公共建築物が過半数を占める一方、民間の福祉・医療施設や東日本大震災からの復興を目指す災害公営住宅が多かったことが特色としてあげられる。

一次審査は8月17日に、書面により現地審査対象作品の選考を公開で行った。始めに賞の趣旨、意義を再確認した後、各審査委員が会場に用意された応募書類、図面、写真をもとに評価を行った。審議においては、全員が全体的な評価や感想を述べた上、各委員11点以内で候補作品を投票した。その結果をもとに、多くの票を集めた作品、及び少数であっても評価すべき点について明確な理由と共に推薦のあった作品を対象に議論を重ねた。その結果、現地審査対象とする16点を全会一致で選定した。

二次審査は10月23日から25日まで3日間にわたり、一次審査で選定された16点について現地審査を実施した。各審査委員は、周辺環境との調和、建築物のデザイン・機能性、東日本大震災からの復興に対する貢献など、賞の基準に照らして多角的な視点から評価を行い、正賞、準賞、優秀賞候補として5点、特別部門賞候補として3点、復興賞候補として3点を選んで投票し、その評価理由と全作品についてのコメントと共に提出した。

最終審査は11月13日に全審査委員出席のもとで行われた。全員が現地視察を通じた印象と評価の観点について述べた後、授賞作品の選考に移り、事前の投票の集計結果と各審査委員による推薦作品の評価理由をもとに意見交換を行った。

評価が拮抗して、困難な選考となったが、最終的に合議により全会一致で下記のとおり、正賞1点、準賞1点、優秀賞3点、特別部門賞3点、復興賞3点が選定された。

以下に各賞の選定理由を示す。詳しくは受賞作品ごとの講評を参照されたい。

正賞の『あぶくま更生園』は、知的障がいを持つ人々の生活実態について理解した上で、様々な空間要素を組み合わせ、短工期の中で地場産材を巧みに用いて、明るく変化のある空間が実現されている。居室をユニット配置して施設的な雰囲気をなくすと共に、視覚的な一体感をもたせ、従来の障がい者施設のイメージを払拭した建築となっている。

準賞の『宮畑遺跡史跡公園 体験学習施設(じょいもん)』は、公園と建物を一体にとらえ、遠望する吾妻連峰まで取り込んだ配置により、太古に思いを馳せる場が生み出されている。エントランスホールの縄文土器をモチーフとした逆六角錐の繰り返しによる木造立体トラスの屋根架構が印象的で、難度の高い設計に施工者も応え、密度の濃い建築が実現されている。

優秀賞には、『国見町庁舎』、『北会津こどもの村幼保園』、『BLUE MUG COFFEE』の3点が選ばれた。

『国見町庁舎』は、鉄骨と集成材のハイブリッド部材により、庁舎に求められる大スパンの空間と利用者により優しい木の空間が両立しており、コンパクトな平面形でありながら豊かさを感じられる。外部の木のルーバーとボックス型バルコニーが新しい景観を生み出し、来庁者を迎え入れている。

『北会津こどもの村幼保園』は、周囲の風景を取り込み、遊びや交流の場となる円形の屋内広場を囲んで、家型の色とりどりの屋根をもつ保育室が配置され、木を生かした内部空間と幼保園を構成する個々のスペースについてのアイデアにより、文字通り子供の世界を創り上げている。

『BLUE MUG COFFEE』は、前面道路のカーブに面して雑木林を設け、印象的な建物の形態と相まって、街並みに対するアクセントとなっている。緑に面したテラスと、木や石等の素材を生かし手作り感にあふれた居心地よい内部空間が、豊かな時間を過ごせる場を地域に提供すると同時に、建て主の建築にかけた夢を実現している。

特別部門賞には、『曙ブレーキ福島製造株式会社 桃苑寮』、『喜多方市立熊倉小学校体育館』、『福島県買取型復興公営住宅 関船団地』の3点が選ばれた。

『曙ブレーキ福島製造株式会社 桃苑寮』は、女性たちが学びながら働き、共に過ごす場として、女性による計画・設計・施工チームで検討が重ねられ、間仕切りを閉じれば講義室となるホールや吹き抜け階段ホールを中心に、明るく一体感のある寮生活空間が生み出されている。

『喜多方市立熊倉小学校』は、地場産の8寸角の杉材200本を製材として用い、木造ならではの架構の繰り返しにより、内外ともリズム感のある空間・形態が、工期・工費等の厳しい条件のもと、地域の製材所・大工の力を集めて実現されている。

『福島県買取型復興公営住宅 関船団地』は、コスト・工期が厳しい買取型復興公営住宅の設計・建設において、県産材を使用し、地域の製材・建設能力を生かすことにより、WOOD.ALCによる県内初の木表し3階建て公営住宅を、4か月という超短工期で完成させ、公営住宅計画の新たな可能性を示している。

復興賞には、『飯舘村災害公営住宅飯野町団地』、『KIK‘B』、『矢吹町営 中町第一災害公営住宅』の3点が選ばれた。

『飯舘村災害公営住宅飯野町団地』は、将来ビジョンをもとに子育て世帯を主対象とした災害公営住宅である。戸建てと長屋形式の住戸が広場を囲む配置とその中央に設けた集会施設が居住者同士、周辺住民との交流を可能にしている。集会施設が子供の居場所として木造で居心地よく計画されていることも特筆できる。

『KIK‘B』は、被災により活気を失っていた郡山駅前大通りを活性化するために、1階はレンガタイル、2階は木製ルーバーのファサードによる連続的な街並みを新たに創り出している。店舗群の中に賑わいや活動を生み出すスペースを確保し、まちづくりの核となる一画を実現している。

『矢吹町営 中町第一災害公営住宅』は、とおり庭やリビングアクセスにより交流を生み出す配置、木材を活用して多様な住戸平面の組み合わせや変化のある立面構成等、挑戦的な姿勢で新たな公営住宅の可能性を示している。被災して歯抜けになった旧奥州街道沿いの街並み再生の起点となることが期待される計画である。

惜しくも選外となった作品にも、本賞の趣旨に照らしてそれぞれ見どころがあった。

『王子コンテナ株式会社 福島工場』は、工場のイメージを破り、大きなガラス面で開放的な姿を前面の植栽と合わせ、地域に対する顔を創り出している。

『郡山市立中央公民館・郡山市勤労青少年ホーム』は、隣接する郡山公会堂のファサードの意匠をホワイエの壁装に生かし、夜にはそれが木質空間の暖かい光の中に浮かび上がって街の魅力を高めている。

『ふくしま逢瀬ワイナリー』は、企業の復興支援によるワインの醸造施設に展示・集会機能が組み合わせられ、端正な建築デザインと前庭と周囲の緑が調和した、人の集まる場を生み出している。

『希望ヶ丘プロジェクト』は、建築家の協働により、中庭を囲んで様々な木構造の仮設建築が計画され、コミュニティ再生や応急仮設住宅の部材の再利用など、多様な提案がなされている。

『坂下南幼稚園』は、構造材、床材、壁材、天井材に県産木材を採用し、平面的な広がりや程よいスケール感を持つ、木造ならではの居心地よい子供の空間となっている。

応募作品は、いずれも建築主、設計者、施工者の建築文化に対する理解と姿勢があって生み出されている。それぞれの地域の建築文化の発展に寄与すると共に、こうした積み重ねにより福島県全体の建築文化が形作られていくことが期待される。

現地審査では、構想や計画、施工段階に携わった担当者から、当時を振り返りながら、想いを込めて説明していただいた。例年、審査を通じて建築文化賞のあり方、賞を通じて建築文化として何を継承していくかということを考えさせられる。建築に携わった人々や地域の人たちの思いと努力の上に、建築が生まれ、技術が継承される。まちの景観が育ち、歴史が重なり、そうして建築文化が形成されていく。そのことが受賞作品を通じて多くの人々に共有されることを願っている。

最後に、今回応募いただいた関係者に対して、審査委員一同、深く敬意と謝意を表したい。

審査委員長 長澤 悟

◆ 建築文化賞



あぶくま更生園 …………… 田村市

(建築主) 社会福祉法人福島県福祉事業協会
(設計者) 株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ
(施工者) 鹿島建設株式会社東北支店

知的障がいを持つ人々が居住する施設として、入居者が安心して過ごせるよう、様々な空間要素を巧みに組み合わせ、ユニットに分節しながら視覚的連続性のある明るくゆとりのある生活空間が実現されている。入居者が自分の居場所を確保し、安心感を持ってパブリック・リビングに集まって過ごしている様子が見られる。

各ユニットは、緩やかなスカイラインをつくる傾斜屋根をもち、木造の架構がそのまま内部に表れて開放的な空間となっている。折り重なった屋根の隙間から光が入り、木製天井と地元の田村杉の柱や壁が内部空間に温かみを与えている。

従来の障がい者の施設のイメージから脱し、新たな可能性を示した作品として高く評価できる。

の 紹 介

◆ 建築文化賞準賞



宮畑遺跡史跡公園 体験学習施設(じょいもん) …………… 福島市

(建築主) 福島市

(設計者) 大建設計・鈴木設計設計共同体+株式会社古市徹雄都市建築研究所

(施工者) 株式会社安藤組

史跡公園と建築物が一体になった配置計画で、2階展望デッキからは公園越しに雄大な吾妻連峰が眺望でき、かつてここを居住地に選んだ縄文人と心がつながる思いにさせられる。

建物は木製天井の架構が印象的で、エントランスホールの縄文土器をモチーフにした逆6角錐の木造立体トラス、多目的ホールの不定形の木製格子梁表しなど、施工者の工夫と努力によって施工難度の高さを克服し、実現されている。随所に様々なデザイン・ポキャブラリーが散りばめられ、建物自体が来訪者に縄文時代へのイメージを膨らませる仕掛けとなっている。

この建築によって、宮畑遺跡史跡がこれまで以上に知られ、来訪者が増えることが期待される。

(順不同)

◆ 優秀賞

国見町庁舎…………… 国見町

(建築主)国見町
 (設計者)福島県国見町庁舎建設実施設計共同企業体
 (株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所
 +株式会社田畑建築設計事務所)
 (施工者)安藤・間 安藤組 佐久間工業 特定建設工
 事共同企業体

鉄骨と集成材のハイブリッド部材が庁舎の中央部に大きく展開している。町民が最もよく訪れるエリアにこれを多用することにより、木造のような落ち着いた空間づくりに成功している。外観の木製ルーバーと木を表したリフレッシュ・テラスとのコンビネーションが、周囲の新しい景観要素となっている。

構造材の他にも床・テラスに県産木材、家具には国見町産木材を使用し、イベント等にも使うことのできる中央吹抜にはアカマツ広場を設けるなど、コンパクトながら温かみを感じられる庁舎となっており、木材の活用の効果をよく示している。



◆ 優秀賞

北会津こどもの村幼保園…… 会津若松市

(建築主)学校法人白梅
 (設計者)有限会社松鹿設計製作所
 (施工者)田中建設工業株式会社

美しい山並みと田園風景に囲まれた雄大な眺望を取り入れ、子供たちが毎日をのびのびと過ごすための様々な工夫が凝らされている。色とりどりの屋根を持つ保育室が周囲に配置された円形の大空間の中で、多くの園児が遊び、交流することができ、大きな家の中にいるような安心感とやすらぎを創出している。

内部、外部において一つの集落が表現され、地域と共存する認定こども園であることを感じさせる作品となっている。



◆ 優秀賞

BLUE MUG COFFEE…………… いわき市

(建築主)株式会社いわきエアコン
 (設計者)有限会社ハコプラスデザイン
 (施工者)有限会社ハコプラスデザイン

住宅や商店が建ち並ぶ道路のカーブ沿いに建ち、緑のテラスを構えるシンプルなデザインが街並みを変えるアクセントとして機能している。内部は、従業員や地域の人々による手作り感あふれる装飾と、建築主好みの大谷石や木材を利用した内装がよく調和し、居心地よい空間となっている。

建築に夢を求め、企業姿勢をそこに込めようとした建築主が、その思いを託せる設計者を探し求めるところから始まり、設計者がその思いを真に受け止めて、細部に至るまでアイデアを重ねた結晶として、建築文化に寄せる理解と工夫がここに凝縮されている。



◆ 特別部門賞

曙ブレーキ福島製造株式会社

桃苑寮……… 桑折町

(建築主) 曙ブレーキ工業株式会社

(設計者) 基本設計:株式会社プランテック総合計画事務所

実施設計:株式会社亀岡工務店+株式会社設計室NOAH

(施工者) 株式会社亀岡工務店

働きながら学校に通い学ぶ勤労学生のための女子寮である。女性の社会進出を支援する企業の継続的な姿勢にまず敬意を表したい。

女性による計画・設計・施工チームで相互理解と意見交換が重ねられ、女性たちが共に生活し、学び、憩う場が創り上げられている。

外周部にスリット窓を持つ居室群が配置され、内部中央部のトップライトを有する明るいコモンスペースは、安心感のある居心地よい空間となっている。



◆ 特別部門賞

喜多方市立熊倉小学校体育館…… 喜多方市

(建築主) 喜多方市

(設計者) 株式会社創ライフ研究室

(施工者) 櫻内建設工業株式会社

市が供給する地場産材を用い、地域の製材所、工務店、大工の力を結集して作り上げられている。木材の調達・製材・加工・組立等、様々な職種が活躍しており、地域振興に大いに貢献し、地域経済の循環や技術の継承にも寄与している。

木造ならではの架構の繰り返しを生かし、内外ともリズム感のある空間・形態が、工期・工費の限られた条件のもとで実現されている。

本建物は学校体育館であるが、地場産材を生かし、地域の方で生み出される公共施設が、地域の人々にとってより大きな喜びと誇りをもって集えるものとなることを示している。



◆ 特別部門賞

福島県買取型復興公営住宅 関船団地…… いわき市

(建築主) 福島県

(設計者) 有限会社辺見美津男設計室

(施工者) 藤田建設工業株式会社

コスト、工期が厳しく問われる買取型復興公営住宅の設計・建設において、県産材を生かし、鉄骨造と厚板集成材のハイブリッド構法により県内初の木表し3階建て公営住宅を実現したものである。避難者の居住の安定を最優先に、買取方式の整備手法や4か月という超短工期で完成させるための新工法の採用、県内初のWOOD.ALCの活用など、デザインビルドの特長が効果的に生かされている。設計者と施工者の協働の可能性や地域ビルダーの役割を総合的に示しており、地域に根差す企業としての姿勢は高く評価できる。

シンプルな外形であるが、木を表し、エントランス周りの金属のシャープなデザインと対比させることにより、木の温もりや和らぎの効果を感じさせる作品となっている。



受賞作品の紹介

(順不同)



◆ 復興賞

飯舘村災害公営住宅飯野町団地… 福島市

(建築主) 飯舘村
(設計者) 株式会社呂建築事務所
(施工者) 株式会社英工務店

原子力災害による避難者向けとして、最初に完成した災害公営住宅であり、将来を担うのは子供という信念の下、子供のいる世帯を対象に計画されている。個々の生活を尊重しつつ、戸建てと長屋形式の住戸が広場を囲んで玄関を向けるコモンアクセスの配置を採り、住民同士の日常の交流やイベント開催等を促すと共に、周辺との交流も生まれやすいよう意図している。

広場中央の集会所は、放課後や休日の子供の過ごし場所、親子や世代間の交流の場となるよう、木造の架構の中に様々な場が用意されている。

村長を始め関係者全員の、村民を守り故郷への帰還を願う強い思いが、細部のデザインに至るまで随所に感じられる。さらに、居住する村民が帰村した後は、住み心地の良い環境を福島市に残すということまで視野に入れている点も特筆できる。

◆ 復興賞

KIK'B…… 郡山市

(建築主) 有限会社菊屋茶舗
(設計者) 有限会社阿部直人建築研究所
(施工者) 光建工業株式会社

東日本大震災や空き店舗の発生により活気を失っていた駅前大通りの復興に向け、55mにわたる連続した街並みづくりを計画したものである。1階外装のレンガタイルと2階の木製ルーバーにより、レトロな雰囲気と親しみを感じさせる通りが生まれた。

テナント用スペースに加え、中央部に階段室を広げて設けた公共スペースや道行く人が足を止めるアルコーブなど、イベントや地域の活動となり、賑わいを創出するスペースが盛り込まれており、今後のまちづくりの取組みの起点となる役割が期待される。



◆ 復興賞

矢吹町
中町第一災害公営住宅

… 矢吹町

(建築主) 矢吹町
(設計者) 株式会社スタジオ・クハラ・ヤギ
(施工者) 高田工業株式会社

災害公営住宅を被災した旧奥州街道沿いの街並み復興の核として位置付け、道路向かいの地区センターと呼応して計画されていることは高く評価できる。交流を生み出しやすいように、2棟を「とおり庭」を挟んで配置すると共に、リビング・アクセスの住戸計画としている。多様な平面・断面の住戸の組合せと集成材厚板パネルによる軒下空間により、変化に富む群造形を生み出しており、集合住宅の新たな可能性を示している。

今後、住み手の工夫が加わり、この公営住宅が町の顔となって賑わいある街並みが形成されていくことが期待される。

第34回福島県建築文化賞

福島県飯坂ホーム

福島市



社会福祉法人福島県社会福祉事業団
有限会社湧設計
佐藤工業株式会社

伊達地方消防組合消防本部・中央消防署庁舎

伊達市



伊達地方消防組合
福島県建築設計協同組合
担当: (総括) エーユーエム構造設計株式会社、(意匠) 岡松利彦建築設計事務所
+ 高橋岳志建築設計事務所
株式会社山崎組

信夫山ガイドセンター

福島市



一般財団法人ふくしま未来研究会
アルトプランルーム
株式会社エスケーコーポレーション

アネックスひろせ

伊達市



八巻石材工業株式会社
株式会社設計室NOAH
株式会社亀岡工務店

いいくぼ歯科

福島市



飯久保 美穂
株式会社設計室NOAH
株式会社亀岡工務店

メモリアルホールひろせ「保原斎苑」

伊達市



八巻石材工業株式会社
株式会社設計室NOAH
株式会社亀岡工務店

レオ歯科医院

福島市



土屋 令雄
株式会社設計室NOAH
株式会社亀岡工務店

桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコゼ」(Inviting Community Zone for Everyone)

桑折町



桑折町
福島県建築設計協同組合
担当: 株式会社内田建築設計事務所
株式会社安藤組

カシェート・モデルヌ

福島市



丹治 正
株式会社設計室NOAH
株式会社亀岡工務店

郡山市立中央公民館・郡山市勤労青少年ホーム ★

郡山市



郡山市
株式会社NTTファシリティーズ東北支店
東急・壁巢特定建設工事共同体

王子コンテナ株式会社 福島工場 ★

伊達市



王子コンテナ株式会社
王子不動産株式会社一級建築士事務所
三井住友建設株式会社東北支店

郡山市乙高保育所・北部地域子育て支援センター

郡山市



郡山市
株式会社水上設計
王子建設株式会社

梁川屋内運動場(パレオパークやながわ)

伊達市



伊達市
株式会社白井設計
菅野建設株式会社

ふくしま逢瀬ワイナリー ★

郡山市



公益財団法人三菱商事復興支援財団
株式会社大林組東北支店一級建築士事務所
株式会社大林組東北支店

応募作品一覧（受賞作品以外）



蔭山工務店社屋

株式会社蔭山工務店
有限会社阿部直人建築研究所
株式会社蔭山工務店



泉崎村役場庁舎

泉崎村
有限会社タック構造設計
陰山建設株式会社



希望ヶ丘プロジェクト ★

NPO福島住まい・まちづくりネットワーク
難波和彦+界工作舎、建築工房、NASCA、日本
大学工学部浦部研究室、はりゅうウッドスタジオ
株式会社芳賀沼製作
藤田建設工業株式会社



福島県 矢吹町 みんなの家

矢吹町商工会
長尾 亜子
株式会社平成工業



並木町体育館

須賀川市
株式会社水上設計
荒牧建設株式会社



棚倉町立図書館

棚倉町
株式会社鈴木伸幸建築事務所
藤田建設工業株式会社



須賀川市立第一小学校

須賀川市
株式会社関・空間設計
株式会社橋本組
笠原工業株式会社



復興公営住宅(古川町団地)

福島県
株式会社田畑建築設計事務所
滝谷建設工業株式会社



福島トヨタ自動車株式会社 須賀川店

福島トヨタ自動車株式会社
株式会社社設計
金田建設株式会社



復興公営住宅(年貢町団地1号棟)

福島県
株式会社田畑建築設計事務所
鈴木総合建設株式会社
株式会社丸庄工務所



八竜神市営住宅

白河市
株式会社深谷設計
株式会社佐久間組



復興公営住宅(年貢町団地2・3号棟)

福島県
株式会社はりゅうウッドスタジオ
株式会社東北入谷まちづくり建設



白河市立白河中央中学校

白河市
株式会社渡辺建築設計事務所
県南・鈴木特定建設工事共同企業体

建築物名称 ★印：第一次審査通過作品

所在地

建築物全景

(建築主)
(設計者)
(施工者)

第34回福島県建築文化賞

認定こども園 若松第二幼稚園・星の子ランド

会津若松市



学校法人若松幼稚園
有限会社桃李社
会津土建株式会社

デイサービスセンター えんじゅ

会津美里町



株式会社オザワ建設
株式会社設計室NOAH
マルト建設株式会社

会津大学先端ICTラボ LICTIA

会津若松市



公立大学法人会津大学
株式会社白井設計
株式会社共立土建

磐梯町ふれあいセンター

磐梯町



磐梯町
株式会社フジタ東北支店一級建築士事務所
フジタ・弓田建設特定建設工事共同企業体

こぼとひなちゃん保育園

会津若松市



学校法人こぼと幼稚園
有限会社和泉設計
秋山ユアビス建設株式会社

照国寺改修

南会津町



高倉 家道(照国寺住職)
照国寺建設委員会
株式会社はりゅうウッズスタジオ
会津建設株式会社

会津若松市立鶴城小学校

会津若松市



会津若松市
有限会社佐藤建築設計事務所
会津土建株式会社(管理棟・屋内運動場)
秋山ユアビス建設株式会社(教室棟)

南会津町立伊南保育所

南会津町



南会津町
有限会社辺見美津男設計室
株式会社新井組

坂下南幼稚園 ★

会津坂下町



会津坂下町
株式会社清水公夫研究所
株式会社東北入谷まちづくり建設

特別養護老人ホーム レジデンスふじの郷

下郷町



社会福祉法人明智福祉会
株式会社白井設計
株式会社南会西部建設コーポレーション

社会福祉法人 昭和福祉会 特別養護老人ホーム 昭和ホーム

昭和村



社会福祉法人昭和福祉会
株式会社山口設計
滝谷建設工業株式会社

磯部水産加工施設

相馬市



相馬市
株式会社関・空間設計
日本・草野特定建設工事共同企業体

千桜会在宅総合ケアセンター

会津美里町



社会福祉法人千桜会
有限会社佐藤建築設計事務所
株式会社丸庄工務所

相馬市立中村第一中学校屋内運動場

相馬市



相馬市
株式会社太田建築設計事務所
平澤建設工業株式会社

応募作品一覧（受賞作品以外）

南相馬市

セデッテかしま(常磐自動車道南相馬市サービスエリア利活用拠点施設)



南相馬市

株式会社明石設計事務所

株式会社中里工務店

川内村

特別養護老人ホームかわうち



社会福祉法人千翁福祉会

株式会社レーモンド設計事務所

株式会社晃建設

南相馬市

環境放射線センター



福島県

株式会社久米設計・阿部直人設計
共同体

庄司建設工業株式会社

いわき市

災害公営住宅永崎団地



いわき市

一般社団法人プレハブ建築協会

福浜大一・作山特定建設工事共同
企業体

南相馬市

浜地域農業再生研究センター



福島県

株式会社社設計

東北建設株式会社

いわき市

いわき市地域防災交流センター 久之浜・大久ふれあい館



いわき市

株式会社日本設計

堀江工業株式会社

広野町

広野みらいオフィス



清水建設株式会社東北支店

清水建設株式会社東北支店
一級建築士事務所

清水建設株式会社東北支店

いわき市

いわき市こども元気センター



いわき市

株式会社環境デザイン研究所

林興業株式会社

楡葉町

福島県楡葉原子力災害対策センター



福島県

株式会社エスデー設計研究所

堀江工業・田中建設特定建設工事
共同企業体

いわき市

災害公営住宅 内郷砂子田団地



いわき市

株式会社日建ハウジングシステム

堀江・加地和・渡辺特定建設工事共
同企業体

建築物名称 ★印：第一次審査通過作品

所在地

建築物全景

(建築主)

(設計者)

(施工者)

受賞作品の位置図

第1回～第34回

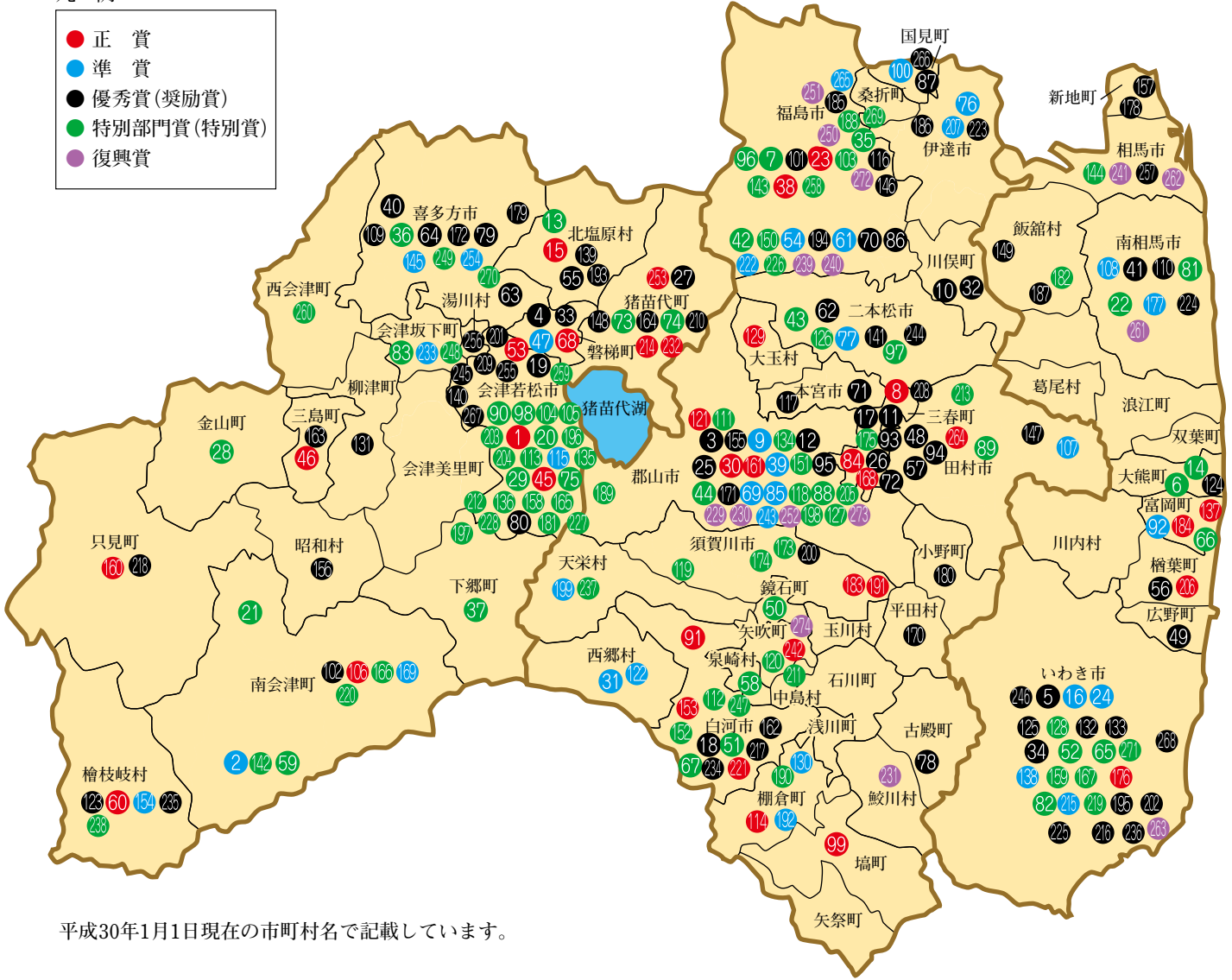
会津地方

中通り地方

浜通り地方

凡例

- 正賞
- 準賞
- 優秀賞(奨励賞)
- 特別部門賞(特別賞)
- 復興賞



平成30年1月1日現在の市町村名で記載しています。

入賞作品一覧

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	奨励賞	特別部門賞
57	1	74件	① 鈴善煉瓦蔵・髯の辻大津加本店による街並	② 大宮市立自然の家(舘岩村所在)	③ 郡山市立図書館・視聴覚センター ④ 磐梯町役場庁舎 ⑤ いわき市立総合体育館	⑥ 大熊町役場庁舎 ⑦ ニュー福ビル
58	2	31件	⑧ 特別養護老人ホームあぶくま荘	⑨ 学校法人郡山開成学園つつし館	⑩ 川俣町中央公民館 ⑪ 三春町民体育館 ⑫ 共同住宅アピタシオン・桑野・シャトー・アナザワ	⑬ 北塩原村役場庁舎・コミュニティセンター ⑭ 大熊町立大野小学校

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	奨励賞	特別部門賞
59	3	43件	15 裏磐梯高原ホテル	16 福島県いわき工業試験場	17 三春第一保育所 18 呉服・上の片野屋 19 河東町役場庁舎	20 輪箱めし田季野 21 南郷体育館 22 小高町立病院・小高町老人福祉センターによる街並
60	4	18件	23 福島ホール（音楽堂、働く婦人の家、勤労青少年ホーム）	24 いわき市立美術館	25 クローネ郡山 26 三春町歴史民族資料館 27 日立健保猪苗代保養所	28 金山町多目的研修センター 29 上菓子司会津葵本店
61	5	35件	30 郡山市民文化センター	31 信越半導体株式会社 白河工場	32 川俣町立川俣南小学校 33 磐梯町公民館 34 報徳苑	35 文化施設環境整備協力事業 36 会津信用金庫喜多方支店 37 下郷町町並み展示館
62	6	41件	38 福島県立美術館・図書館	39 開成柏屋	40 山都町立山都中学校 41 夜の森パークサイドテラス	42 ラジオ福島スタジオ 43 霞ヶ城箕輪門 44 郡山開成学園建学記念講堂
63	7	43件	45 福島県立博物館 46 三島町生活工芸館	47 磐梯山慧日寺資料館	48 船引町立船引中学校 49 広野町立広野小学校	50 鏡石町コミュニティーセンター 51 日本ルセル株式会社白河工場 52 いわき明星大学
元	8	34件	53 会津藩校日新館	54 日本ベクトン・ディッキンソン福島工場	55 磐梯山噴火記念館 56 楢葉町サイクリングターミナル 57 わかくさ幼稚園	58 泉崎村立泉崎中学校 59 舘岩村立舘岩村中学校
2	9	50件	60 檜枝岐村尾瀬の郷交流センター・檜枝岐村民体育館	61 福島市古閑裕而記念館	62 グリーンピア二本松 63 塩川町立堂島小学校 64 喜多方下田郵便局	65 ウッドピアいわき 66 富岡町野外活動センター 67 南湖公園公衆トイレ
3	10	39件	68 榮川酒造株式会社 磐梯工場	69 郡山ユラックス 熱海	70 福島市信夫支所及び信夫公民館 71 白沢村ふれあい文化ホール 72 三春町中郷学校	73 本田技研健康保険組合健康増進センターいなわしろ荘 74 ホテルプルミエール箕輪 75 大川荘「宵待亭」
4	11	45件		76 梁川町役場庁舎 77 二本松市城山総合体育館	78 古殿町役場庁舎 79 福島地方法務局喜多方出張所 80 会津若松市立第二中学校	81 東北電力株式会社総合技術訓練センター 82 割烹谷口楼 83 会津西部斎苑
5	12	31件	84 三春町立桜中学校	85 福島県ハイテクプラザ	86 アメニティふくぎん'91 87 森江野小学校校舎並びに森江野幼稚園園舎	88 ホテルハツ 89 常葉町こどもの国ムシムシランド 90 株式会社江戸屋重度障害者多数雇用事業所
6	13	78件	91 中山義秀記念文学館	92 富岡町役場庁舎・保健センター	93 三春町・船引町学校組合立要田中学校 94 船引町文化センター 95 郡山市立美術館	96 青少年教育宿泊研修施設（立子山自然の家） 97 岩代町図書館 98 会津名匠華蔵・神禧堂 薬館・山葵
7	14	68件	99 塙町コミュニティプラザ・塙町立図書館	100 国見町観月台文化センター	101 福島市国体記念体育館 102 御蔵入の里	103 鯖湖湯 104 会津葵シルクロード文明館 105 パーラーぼたん

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	奨励賞	特別部門賞
8	15	65件	106 福島県立南会津病院	107 都路村役場庁舎 108 福島県立浜高等技術専門学校	109 喜多方蔵の里 110 野馬追の里歴史民俗資料館	111 四季彩一力 112 松楽亭（翠楽苑） 113 渋川問屋別館
9	16	62件	114 棚倉町文化センター	115 会津ガス本社ビル	116 社会福祉法人福島愛育園 117 本宮体育館	118 くに屋 119 水と緑のふれあいランド 120 JR 矢吹駅+周辺計画
10	17	59件	121 太田総合病院附属老人保健施設桔梗	122 白河光彩荘	123 尾瀬御池ロッジ・尾瀬櫛の森ミュージアム 124 大熊町図書館 125 福島県いわき海浜自然の家	126 福島介護福祉専門学校 127 学校法人郡山開成学園創学館 128 木のまち里山

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	優秀賞（賞名変更）	特別部門賞
11	18	63件	129 ふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」	130 棚倉町立社川小学校	131 やないづ町立斎藤清美術館 132 いわき市立草野心平記念文学館 133 いわき市健康・福祉プラザ「いわきゆったり館」	134 アドミラル 135 福西本店（福西本店、大町ガス燈、大坂屋伊兵衛） 136 七日町通り下の区町並み協定地区内
12	19	60件	137 リフレ富岡	138 いわき市暮らしの伝承郷	139 諸橋近代美術館 140 北会津村役場庁舎 141 あだたら清流センター	142 前沢曲家集落 143 ヘアサロン三角ビル 144 IHI 相馬工場
13	20	66件		145 有限会社蔵見世	146 梅苑会館 147 グリーンパーク都路「草原の家やすらぎ」 148 福島県ばんだい荘 149 特別養護老人ホーム「いいたてホーム」	150 福島ルンビニー幼稚園 151 中町再開発ビル（郡山中町第一地区第1種市街地再開発事業施設建築物） 152 JR東日本総合研修センター
14	21	69件	153 福島県文化財センター白河館まほろん	154 檜枝岐村地域資源活用総合交流促進施設「燧の湯1号館」	155 特別養護老人ホーム玉川ホーム（増築） 156 からむし織の里（からむし工芸博物館・織姫交流館） 157 新地町立駒ヶ嶺小学校	158 史跡若松城跡 干飯櫓・南走長屋 159 アクアマリンふくしま
15	22	55件	160 只見町立只見小学校 161 福島県立郡山養護学校		162 東村保健福祉センター 163 尾瀬街道・三島宿 164 猪苗代町立東中学校	165 プリスクール水輝 166 御蔵入の里 会津山村道場 森の体験館 167 安濃胃腸科内科医院
16	23	56件	168 三春交流館まほら	169 柏屋	170 太田看護専門学校 171 特別養護老人ホームよもぎ荘 172 福島県営住宅東桜ガ丘団地	173 なのはな保育園 174 須賀川市立西袋中学校屋内運動場 175 秋田山 龍稔院 庫裡・書院
17	24	68件	176 福島県立いわき光洋高等学校	177 特別養護老人ホーム梅の香	178 新地町役場庁舎 179 田原屋菓子店 180 小野町火葬場「おの悠苑」	181 七日町駅（JR只見線） 182 公営住宅笠石団地
18	25	73件	183 福島エコムスパビリオン・SUS 福島工場 184 富岡町文化交流センター「学びの森」		185 飯坂支所・飯坂学習センター 186 伊達市役所・保原総合支所（旧保原町役場） 187 飯館村立飯樋小学校	188 福島片岡鶴太郎美術館庭園「松鶴苑」 189 郡山市立湖南小学校 190 集いの小径
19	26	63件	191 SUS 福島工場社員寮	192 棚倉の茶界「Cafe'sBond 141」	193 裏磐梯ビジターセンター 194 福島県消防学校 195 ハニース社員寮	196 農業併用住宅（栗城邸） 197 大内の御柱物語 198 郡山市立三穂田中学校体育館

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	優 秀 賞 (賞名変更)	特別部門賞
20	27	56 件		199 浦和ルーテル学院 山の上学校	200 須賀川市立仁井田中学 校屋内運動場 201 会津若松市立河東学園 小学校 202 いわき明星大学薬学部棟	203 会津東山温泉 御宿東鳳 204 原瀧・今昔亭 川床 205 特別養護老人ホーム ハーモニーみどりヶ丘
21	28	51 件	206 楢葉町立あおぞら こども園	207 御代田コミュニ ティセンター	208 MARUWA QUAR TZ三春工場 4号棟 209 よつば cafe 210 猪苗代町立緑小学校・ 屋内運動場	211 中島村生涯学習セン ター「輝ら里」 212 県営住宅八日町団地 213 移の丘のトイレ
22	29	56 件	214 猪苗代町体験交流 館「学びいな」	215 白ばら幼稚園	216 高野山真言宗冷泉寺 217 作楽(さくら) 218 只見町立明和小学校	219 いわき平競輪場 220 雪国型 広域中山間地 医療施設 あべクリニック

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	優 秀 賞	特別部門賞	復 興 賞
25	30	52 件	221 白河市立図書館	222 長楽寺禅堂	223 伊達市立保原小 学校 224 南相馬市立中央 図書館・市民情 報交流センター 225 いわき幼稚園	226 飯坂温泉「旧堀 切邸」 227 アドリア 北出丸カフェと その周辺地域 228 会津能楽堂	229 郡山総合運動場 開成山野球場 230 「ロハスの家」群 231 村民保養施設 さざり荘
26	31	30 件	232 猪苗代のギャラリー	233 会津坂下町立坂 下東幼稚園	234 認定こども園 ぼだい樹西こども園 西保育園 235 尾瀬書美術館「思郷館」 236 いわき芸術文化 交流館アリオス	237 地形舞台 238 檜枝岐歌舞伎伝 承館千葉之家	239 福島トヨタ自動 車株式会社 本社 240 浪江 in 福島ライ ブラリー きぼう 241 相馬井戸端長屋
27	32	50 件	242 矢吹町立矢吹中 学校	243 菊池眼科	244 二本松市立 とうわこども園 245 アルテマيس ター保志 246 かなや幼稚園	247 IDCフロンティア 福島白河データセンター 248 会津坂下町 気多宮 街なみ交流センター 249 喜多方市 地域・家庭医療センター 「ほっと☆きらり」	250 桜の聖母学院 幼稚園園舎 251 飯坂温泉 「なかむらや旅館」 252 日本全業工業株式会社 研修管理棟
28	33	52 件	253 はじまりの美術館	254 喜多方市役所	255 Angelica Garden 256 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 257 相馬 こどものみんなの家	258 LARGE LAB TOWN 259 有限会社 松坂屋商会 260 西会津町立西会津小学校	261 南相馬市 大町東団地・大町西団地 262 LVMH 子ども アートメゾン 263 福島県漁業協同組合連合会 地方卸売市場 小名浜魚市場
29	34	62 件	264 あぶくま更生園	265 宮畑遺跡史跡公園 体験学習施設 (じょいもん)	266 国見町庁舎 267 北会津こどもの村 幼保育園 268 BLUE MUG COFFEE	269 曙プレーキ福島製 造株式会社 桃苑寮 270 喜多方市立熊倉小学 校体育館 271 福島県買取型復興公営住宅 関船団地	272 飯館村災害公営 住宅飯野町団地 273 K I K 'B 274 矢吹町営 中町第 一災害公営住宅

※市町村名については、作品募集時での名称で記載しています。

第34回福島県建築文化賞 表彰式次第

日 時： 平成30年1月22日(月)
午前11時～
場 所： 杉妻会館 4階 牡丹の間

- | | | |
|-----------|---|----------------|
| 1 開 会 挨 拶 | 福島県建築士会 会長 | 蛭田 修二 |
| 2 経 過 報 告 | 福島県土木部長 | 大河原 聡 |
| 3 審 査 講 評 | 審査委員長 東洋大学名誉教授 | 長澤 悟 |
| 4 表 彰 | 福島県建築文化賞
福島県建築文化賞準賞
福島県建築文化賞優秀賞
福島県建築文化賞特別部門賞
福島県建築文化賞復興賞 | |
| 5 主催者代表挨拶 | 福島県知事
福島民報社 代表取締役社長 | 内堀 雅雄
高橋 雅行 |
| 6 受賞者代表挨拶 | 社会福祉法人福島県福祉事業協会 理事長 | 山田 莊一郎 |
| 7 閉 会 挨 拶 | 福島県建設業協会 会長 | 小野 利廣 |



この印刷物は、再生紙と
地球環境にやさしいベジタブルインクを
使用しています。